

ハナニラの農薬残留解析およびニラとの比較*

島本文子

Pesticide Residue Analysis of the Scapes of Chinese Chives,
and Comparison with Chinese Chives

Fumiko SHIMAMOTO

要 約

ハナニラにおける農薬残留要因の解析と残留濃度の推定を試みた。

1. 散布1日後のハナニラの残留濃度は、ニラの約4分の1であった。散布後、両作物とも時間の経過に伴って残留濃度は減少したが、その減衰速度はハナニラの方が速かった。この農薬残留濃度の推移を各作物の散布1日後を100とした指数で示すことにより、ニラの既登録情報からハナニラの残留濃度を推定できた。
2. ハナニラの農薬残留濃度の推定には、既存の推定式 $C = C_0 \exp(-\lambda t)$ が有効であり、これに用いる付着や生育に関するパラメーターを明らかにした。各パラメーターを式に代入して求めた推定値は、実測値と近似していた。

キーワード：ハナニラ，ニラ，農薬，残留濃度，推定